

## はじめに

このたび、聖心女子大学グローバル共生研究所・研究紀要『グローバル共生』第2号を発行いたしました。本研究紀要編集・発行に際しまして、ご協力賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

さて、聖心女子大学グローバル共生研究所が開設されて本年度で6年目となります。研究所のある聖心女子大学4号館グローバルプラザには、展示・ワークショップスペースであるBE\*hiveがあり、地球規模課題をテーマにした展示とワークショップを行っています。

2017年9月～2019年3月に行われた「難民・避難民展」の後、2019年4月～2021年4月には「気候変動展」が、4期に分けられて開催されました。それぞれの期のテーマは以下のとおりです。

- ・第1期 ファッション×気候変動
- ・第2期 女性と社会的弱者にとっての気候変動
- ・第3期 気候変動とスポーツの祭典
- ・第4期 暮らしから捉え直すSDGs/気候アクション

また、この展示に関連するイベントとして、

- ・蟹江憲史氏による講演「気候危機とSDGs」
  - ・江守正多氏・為末大氏によるセミナー「気候変動から気候危機へ～困難な時代をしなやかに生きるヒント～」
  - ・森岡督行氏によるトークイベント「暮らしから捉え直すSDGs / 気候アクション～絵本『Are you ready?』を通して考える、暮らしの中の「ちいさな革命」～」
- なども開催されてきました。

ご承知のように、この時期は新型コロナウイルスの感染拡大とも重なり、開催が危ぶまれましたが、オンラインなどを広く活用し多くの方々に参加していただくことができました。展示は、その後「いま「女性」はどう生きるか」(2021年5月～2023年4月)とその展示と並行して開催された「緒方貞子さんと聖心の教育」に引き継がれています。

今回発行しましたこの『グローバル共生』第2号は、上述の「気候変動展」ならびに関連イベントに関係する論文を特集として編集するとともに、展示とイベントで用いられたパネルや概要を資料として掲載しています。展示のプロジェクトリーダーを務めた本研究所永田佳之副所長の序文にもあるとおり、認識は「気候変動から気候危機」へと変化してきています。皆様にとって、各執筆者による重厚な議論、そして展示とイベントでの資料が、気候危機に対する実行・実践の第一歩、あるいは次なる一歩のきっかけになることを期待しております。

聖心女子大学グローバル共生研究所所長

植田誠治

## 聖心女子大学 グローバル共生研究所

聖心女子大学の教育理念に基づき、グローバル共生を実践するための教育と研究、そして社会活動を目的に、2017年4月に設立されました。

当研究所は、地球規模の課題に関わる研究を行うことに加え、市民団体などと連携し、地域や社会に向けたさまざまな講座やイベントを開催しています。また、グローバル化の時代に必要な学びの場として、BE\*hive（展示+ワークショップ）の企画運営や大学授業科目「グローバル共生基礎／研究／演習」を開講しています。

聖心グローバルプラザを訪れる人々が「良質な問い」に出会い、セミナーやワークショップで互いの声に気づき共有し、課題解決に向けた活動につなげていくことを本研究所は願っています。